

I. 太平洋・島サミットについて

1. 太平洋・島サミットとは

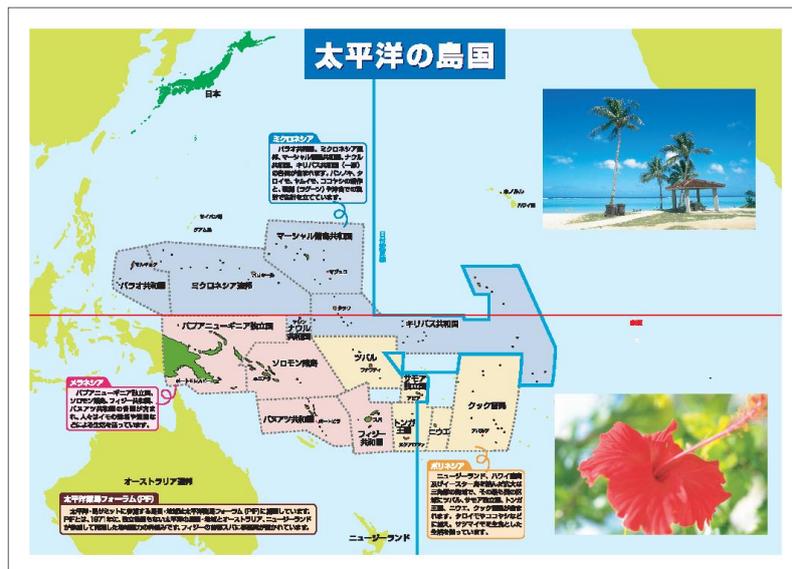
太平洋の島国は親日的で、国際社会において日本を支持してくれる重要なパートナーであることから、これらの国々との関係強化と、同地域の発展に共に取り組むため、3年に一度、日本に太平洋の島国の首脳を招き、防災・環境・開発などの課題について話し合う国際会議。

2. 参加国

原則、太平洋諸島フォーラムに加盟する14か国に加え、オーストラリア、ニュージーランド、日本の首脳等が参加する。

(キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア、オーストラリア、ニュージーランド、日本)

〔※第8回サミットは、ニューカレドニア及び仏領ポリネシアも参加。〕



3. これまでの開催

- 第1回 平成9年10月〔東京都〕
- 第2回 平成12年4月〔宮崎県 宮崎市〕
- 第3回 平成15年5月〔沖縄県 名護市〕
- 第4回 平成18年5月〔沖縄県 名護市〕
- 第5回 平成21年5月〔北海道 占冠村〕
- 第6回 平成24年5月〔沖縄県 名護市〕
- 第7回 平成27年5月22日(金)・23日(土)〔福島県 いわき市〕
- 第8回 平成30年5月18日(金)・19日(土)〔福島県 いわき市〕

4. 第8回太平洋・島サミットの開催経緯

第8回太平洋・島サミットについては、平成29年1月17日、外務省飯倉公館で行われた太平洋・島サミット第3回中間閣僚会合において、岸田外務大臣より、第8回太平洋・島サミットが、平成30年5月に福島県いわき市で開催される旨の発表がなされ、前回に続いての本市開催となった。



太平洋・島サミット第3回中間閣僚会合での記念撮影。



太平洋・島サミット第3回中間閣僚会合での共同記者会見。

●太平洋・島サミット第3回中間閣僚会合の参加国・代表者

参加国等	代表者
日本	岸田文雄外務大臣
ミクロネシア連邦	ローリン・S・ロバート外務大臣
ナウル	バロン・ディバベシ・ワンガ大統領兼外務・貿易大臣
サモア独立国	トゥイラエパ・ファティアロファ・ルペソリアイ・サイレレ・マリエレガオイ首相兼外務貿易大臣

クック諸島	ヘンリー・ブナ首相
ニウエ	ポコトア・ラロトア・シペリ・社会福祉・ 法務・国土測量・ニウエ語保存・教育・ 保険大臣
マーシャル諸島共和国	ジョン・M・シルク外務大臣
パプアニューギニア独立国	リムビク・パト外務移民大臣
ソロモン諸島	ミルナー・トザカ外務・貿易大臣
バヌアツ共和国	ブルーノ・レンゴン外務・国際協力・貿易 大臣
フィジー共和国	チョネ・ウサマテ雇用・生産性・産業関係 大臣
パラオ共和国	カスミル・レメンゲサウ特使
ツバル	マッケンジー・キリトメ議会議員兼政府 貿易・観光特使
トンガ王国	タニア・ラウマヌルペ・タラフォリカ・ ツポウ駐日大使
キリバス共和国	テーコア・イウタ・駐日大使
オーストラリア連邦	ダニエル・スローパー外務貿易省第一次官補
ニュージーランド	スティーブン・ペイトン駐日大使
太平洋諸島フォーラム事務局	アンディ・フォン・トイ事務局次長